


☆☆ 観光ガイド ☆☆


モデルコース上の観光スポット

銭洗い弁天 (妙円寺)



天台宗妙円寺の境内西側に岩屋があり、蛇形の神体・弥勒菩薩・弁才天社・大日如来・舟地藏などの石像が祀られ、2つの池もある。入り口に近い方の池を銭洗池、奥の方の池を弁天池という。「土屋の銭洗弁天」として親しまれ、岩屋内は、物心も清め心願成就を願う道場となっている。

土屋氏の館跡・土屋一族の墓





平安時代後期、中村宗平の三男宗遠は、土屋の地に館を構えた。宗遠は治承四年源頼朝の挙兵に参加、鎌倉幕府成立に貢献した。以来、土屋氏は室町時代の上杉禅宗の乱で敗走し所領が没収されるまで、土屋の地を支配した。『新編相模國風土記稿』では、屋の館の所在について、「宗憲寺境内なりと云(中略)遺形と覚しき所なし」と記している。現在、「宗憲寺」は存在しないが、周辺の地理的状况などにより、その館は三方を山に囲まれ、南に座禅川を配した中世の館として最適な地形をもつ、天台宗大乘院の南に位置する段丘上にあったと推定されている。館跡の一部には「土屋一族の墓」と伝えられる墓域があり、手厚く供養するため、地元では「墓前祭」が行われている。

☆☆ 観光ガイド ☆☆


ちょっと足を伸ばして… モデルコース以外のスポット

かんまん不動尊




国指定重要文化財「木造不動明王立像」は「かんまん不動」と呼ばれ、平安時代後期の作風をもっている。下吉沢八剣神社前の収蔵施設内に安置され、御開帳は、不動縁日の、1月28日、9月28日の年2回のみである。

日之宮神社・立石




通称日之宮さんと呼ぶ山の中腹に立石と称する4m四方もある大きな露岩が見られる。昔の石神信仰の遺物で山頂の日之宮神社は祭神大和武尊で、現在上吉沢八剣神社に合祀されているといわれる。

芳盛寺



真言宗。土屋山無量寿院。土屋三郎宗遠の開基と伝える古寺。宗遠の法号により旧寺号を阿弥陀寺と称したが、応永年間の住僧長寛の時、小田原城主大森式部大輔芳盛の庇護を受け芳盛寺と改めた。

愛宕山公園



標高115m。桜、梅、桃などの樹木が密生し、特に八重桜の大木が多く、花見客を集めている。隣接して、土屋八沢地区の鎮守である愛宕神社がある。

携帯電話で乗りたいバスの待ち時間がわかります!



アドレス <http://dia.kanachu.jp/>
QRコード 

★問合せ 神奈川中央交通(株) バス案内センター
0463-22-8833
(平日9:00~17:25)

★参考文献・資料

- 湘南平塚観光マップ
- 平塚市観光協会 HP
- 平塚市郷土誌事典
- 平塚の文化財
- 平塚市 HP
- 土屋郷土史
- 歴史的文化遺産整備事業説明板
- 関東ふれあいの道説明板

このリーフレットは、平成22年度開催の「まちづくりわいわい塾 路線バスでめぐる市内観光プランをつくろう!」の成果をもとに作成をしました。

発行 平塚市 まちづくり政策部 まちづくり政策課
TEL 0463-23-1111 内線2414
協力 東海大学 観光学部
平塚市観光協会
神奈川中央交通株式会社
平塚市 経済部 商業観光課

15時	08:14	26:32	50:56	09:17	17:29	44:56
14時	08:20	32:40	57:14	17:31	44:56	14:17
13時	10:25	44:57	14:22	42:56	13:17	44:56
						休日
	平日	土曜				
	平71	平74				
	系統	行先	平塚駅北口			
	所要	運賃	380円			24分

13時	13:48					
12時	08:30	47:58				
11時	18:47	08:57	58			
10時	08:27	30:33	37:43	47	03:13	23:43
						休日
	平日	土曜				
	平76					
	系統	行先(経由)	秦野駅南口(中沢橋)			
	所要	運賃	200円			8分

11時	系統	32	33	33	34	
10時	分	10	20	30	42	50
9時	分	00	15	20	35	42
	系統	31	32	34	33	31
	分	31	32	34	33	34
	平日	土曜				
	平34	松岩寺(纏入口)				
	所要	運賃	310円			21分
	平33	松岩寺(花水橋)				
	所要	運賃	330円			24分
	平32	二宮駅南口(中沢橋)				
	所要	運賃	310円			25分
	平31	松岩寺(中沢橋)				
	所要	運賃	310円			24分
	系統	行先(経由)				
	所要	運賃	310円			24分

平塚駅北口⇒松岩寺
※2011/1/17時点の時刻です。
以後改正されている場合があります。
※2011/1/17時点の時刻です。

☆☆ 時刻表 ☆☆

路線バスでめぐる気軽なお出かけプラン

平塚のパワースポットを巡る旅



吉沢・土屋方面

平塚市 まちづくり塾

☆☆ モデルコース ☆☆
〔バスは休日の時刻です〕


10:10	↑	平塚駅北口』バス停発	運賃310円
10:34	○	松岩寺』バス停着	
10:44	○	松岩寺着	(見学5分)
10:49	○	松岩寺発	(徒歩15分)
11:04	○	霧降りの海苔	
11:14	○	霧降りの海苔	(見学10分)
11:14	○	霧降りの海苔	(徒歩35分)
11:49	○	吉沢公民館着	(休憩10分)
11:58	○	寺前橋』バス停発	(妙覚寺四脚門見学)
12:16	○	早田寺前』バス停着	(平38神奈川大学校舎前行 運賃200円)
14:00	○	カフエテイクール発	(土屋一族の臺見学5分)
14:17	○	欠ノ上』バス停発	(徒歩15分)
14:41	○	平塚駅北口』バス停着	(平71平塚駅北口行 運賃380円)

☆☆ モデルコース ☆☆

☆☆ 観光ガイド ☆☆


モデルコース上の観光スポット

松岩寺 ※平塚八景




曹洞宗。万年山。文亀2(1502)年北条氏の臣布施三河守康貞が建立し、同郷の山城国の有徳僧如幻宗悟を講じて開山としたもので、早くから曹洞宗の修行道場として相模国では名が知られていた。本尊は釈迦牟尼仏。

霧降りの滝 ※平塚八景



松岩寺の北に日之宮山を水源とする宮下川が流れ、この流れが平塚八景に指定されている「霧降りの滝」をつくっている。水量豊富な時には、まるで霧のように流れ散るのでこの名前が生まれたと言われている。またこの滝は「魔王の滝」とも言われ、滝の傍らに不動堂があり、上吉沢妙覚寺の住職が不動尊を祀っている。

妙覚寺と四脚門




妙覚寺は天台宗の古刹で建久年間(1190~1199)頃の建立と考えられ、元は現在地より西にある八剣神社の裏手にあったといわれている。山門は神奈川県の重要文化財に指定されており、屋根を支える本柱の前後に2本ずつ計4本の控柱があることから「四脚門」といわれ、室町末から桃山時代の建築様式を伝えている。

☆☆ 観光ガイド ☆☆

モデルコース上の観光スポット


大乘院



天台宗。治承のころ土屋三郎宗遠が再建したと伝える古寺。小田原北条氏は寺領10貫文を寄せて庇護し、徳川家康から10石余の朱印を賜った。天台宗延暦寺派相模第一の本寺として往時25ヶ寺の末院を有していた。


ちょっと足を伸ばして… モデルコース以外のスポット

七国峠 ※平塚八景




市最西端にある七国峠は、甲斐・駿河・伊豆・相模・安房・上総・武蔵の七ヶ国を一箇できたことでその名がある。「七国峠」バス停から徒歩約15分。

遠藤原 ※平塚八景



富士山・箱根山・大山などが一望できる広大な台地。春は菜の花、初夏のつつじ、りんどう、晩秋の日暮富士、冬の西山北嶺など、四季を通じて景色が楽しめる。「七国峠」バス停から徒歩約10分

吉沢の池



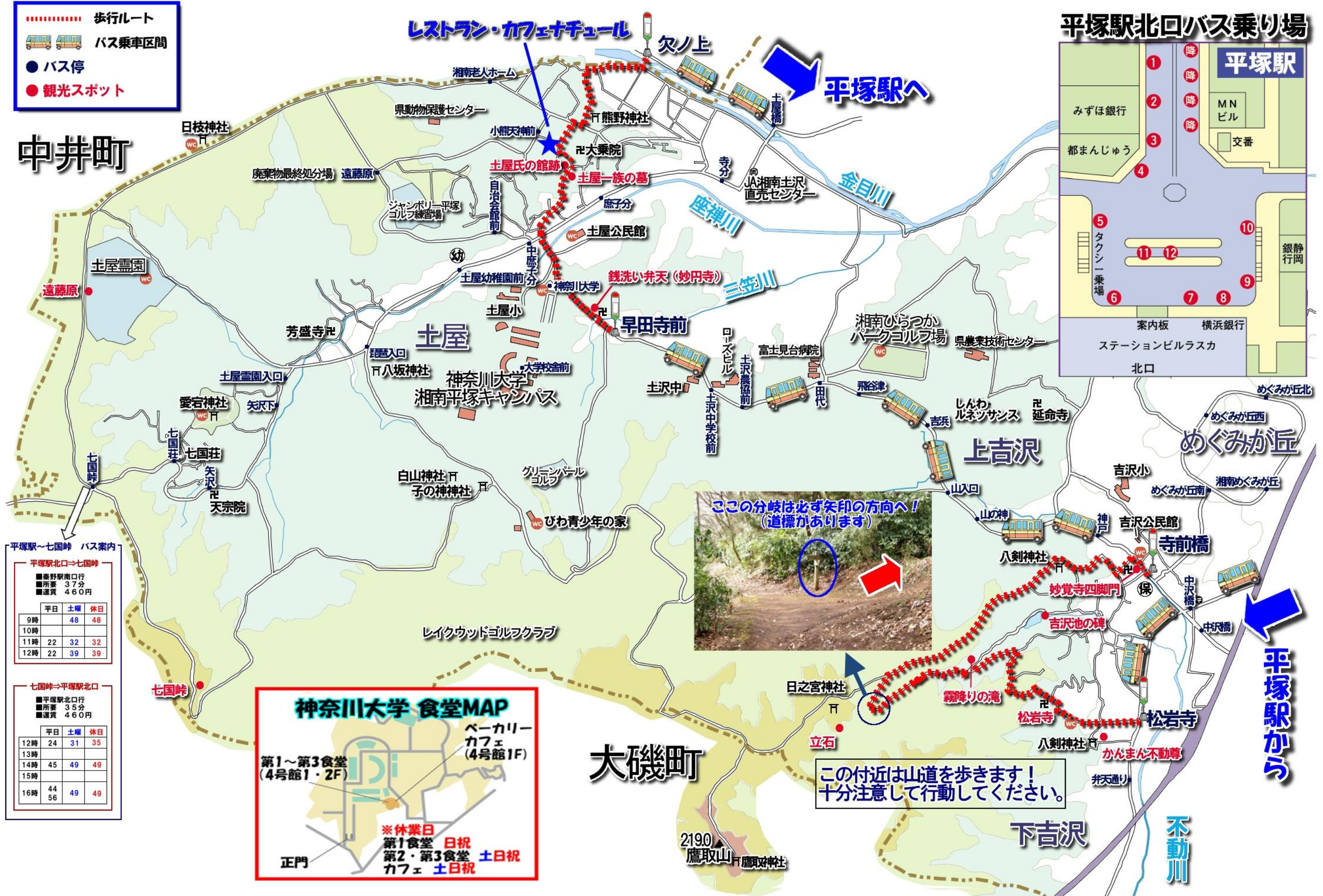
宮下川の水を溜めた池で、池の東端には「吉沢溜池の碑」があり、この池の由緒を刻んである。昭和8年に着工、翌年に完成した農業用の溜池。

●●●●●● 歩行ルート
● バス乗車区間
● バス停
● 観光スポット

中井町

レストラン・カフェナチュール

平塚駅北口バス乗り場



平塚駅北口→七国峠 バス案内

平塚駅北口→七国峠

- 平塚駅南口行
- 所要 37分
- 運賃 460円

	平日	土曜	休日
9時	48	48	
10時			
11時	22	32	32
12時	22	39	39

七国峠→平塚駅北口

- 平塚駅北口行
- 所要 35分
- 運賃 460円

	平日	土曜	休日
12時	24	31	35
13時			
14時	45	49	49
15時			
16時	44	49	49

神奈川大学 食堂MAP

ベーカリー
 カフェ (4号館1F)
 第1~第3食堂 (4号館1・2F)

※休業日
 第1食堂 日祝
 第2・第3食堂 土日祝
 カフェ 土日祝

正門



この付近は山道を歩きます!
 十分注意して行動してください。

平塚駅から

大磯町

下吉沢

不動川